

ISSN 1345-4544

龍谷大学大学院

# 法学研究

第 12 号

龍谷大学大学院

# 法 学 研 究

---

第 12 号

---

# 目 次

---

## 論 文

- PFI 刑務所について  
— 多角的検討と評価 — ..... 松 尾 多英子 ( 1 )
- 薬物依存からの回復における当事者性の意義と課題  
— NPO としてのダルクの活動を素材に — ..... 市 川 岳 仁 ( 29 )
- 周知商標の保護制度に関する比較法的考察  
— 日・中法および条約等における無断登録出願の国際基準創設を目指して —  
..... 劉 飛 飛 ( 51 )
- 事業別予算が地方議会の予算審議に与えた影響について  
— 兵庫県川西市の事例を手がかりとして — ..... 朝 倉 健 太 ( 69 )
- 地域社会における独立型社会福祉士の存立基盤の可能性と創造  
— 地域福祉の新しい担い手・連携・協働を目指して — ..... 五 百 木 孝 行 ( 103 )
- 女性差別撤廃をめぐるグローバルスタンダードと国内政策との乖離  
— 自治体は当事者ニーズにどう応えるのか — ..... 坂 居 雅 史 ( 135 )
- 自治体現場から見た自治体 IT システムの展望  
— IT 部門と業務部門の有機的な連携を目指して — ..... 酒 部 正 太 郎 ( 165 )
- 「地域循環型」音楽産業振興政策の可能性  
— 音楽家と市民を「地続き感」でつなぐ音楽関連職能保有者が参加する  
地域教育を軸とした大阪市における新たな仕組みの提案 — ..... 洪 井 満 ( 193 )
- 包摂型まちづくりと安全・地域魅力マップの理念と手法  
— セーフコミュニティ活動による京都府亀岡市での事例をふまえて —  
..... 橋 詰 清 一 朗 ( 211 )
- 要 旨 ..... ( 227 )
- 2009 年度修士論文・課題研究題目 ..... ( 237 )

## 2009年度 修士論文・課題研究題目

題 目	修 了 生
犯罪学の再定位	相 澤 育 郎
周知商標の保護に関する比較法的考察 - 日・中法および条約等における無断登録出願の国際基準創設を目指して -	劉 飛 飛
生存権の再検討 - 制度後退禁止原則の観点から - 【課題研究】	野 中 一
物権的請求権に関する一考察 - 日本と中国に関する比較研究序説 -	朱 秋 実
地域社会における独立型社会福祉士の存立基盤の可能性と創造 ~ 地域福祉の新しい担い手・連携・協働を目指して	五百木 孝 行
薬物依存からの回復における当事者性の意義と課題 - NPO としてのダルクの活動を素材に -	市 川 岳 仁
女性差別撤廃をめぐるグローバルスタンダードと国内政策との乖離 - 自治体は当事者ニーズにどう応えるのか -	坂 居 雅 史
自治体現場から見た自治体 IT システムの展望 - IT 部門と業務部門の有機的な連携を目指して -	酒 部 正 太 郎
都市近郊農村のまちづくり - 大阪府箕面市の市街化調整区域を素材として -	坂 本 孝 男
「地域循環型」音楽産業振興政策の可能性 ~ 音楽家と市民を「地続き感」でつなぐ音楽関連職能保有者が参加する 地域教育を軸とした大阪市における新たな仕組みの提案 ~	渋 井 満
地方自治体組織の活性化と職員の自己実現 - 職員の自主研究活動を通じて -	庄 巧 郎
建築行政における技術者ネットワーク論 ~ 新しい技術継承を求めて ~ 【課題研究】	福 留 啓 二
京都における中間支援組織の歩みと「協働」 ~ きょうと NPO センターの事例から ~ 【課題研究】	松 嶋 健 太 郎
裁判員裁判時代の課題 ~ 冤罪抑止効果システムへの期待と改善 ~	木 村 恵 理 子
民法における代理出産で生まれた子の母子関係について 【課題研究】	栗 柄 洋 子
山村地域におけるインターメディアリーの可能性 ~ 地縁組織を含む多様な主体の協働に向けて ~	鳥 居 良 寛
包摂型まちづくりと安全・地域魅力マップの理念と手法 ~ セーフコミュニティ活動による京都府亀岡市での事例をふまえて ~	橋 詰 清 一 朗
PFI 刑務所について - 多角的検討と評価 -	松 尾 多 英 子
「新たな脅威」への国際法的対応 - イラク戦争を素材に -	見 谷 拓 哉

相続税法と所得税法との重複適用に関する一考察 ～生命保険契約による年金課税事件をめぐって～	浅野英昭
法人税法における損害賠償請求権の取扱いについての一考察 -東京地裁平成20年2月15日判決、 東京高裁平成21年2月18日判決を題材として-	山元陽一郎
事業別予算が地方議会の予算審議に与えた影響について -兵庫県川西市の事例を手がかりとして-	朝倉健太
中国の軍事力に関する分析 【課題研究】	山田尚矢
ネット配信による著作権侵害に対する保護法制 -中国と日本の比較法の考察-	江源
中国環境影響評価制度の特徴と課題 -建設事業を中心に-	范立春
敵概念の法学的考察 G・ヤコブスの「Feindstrafrecht」論を題材とした 近年の刑事立法の検討 【課題研究】	西本成文

### 執筆者紹介 (掲載順)

- |       |  |
|-------|--|
| 松尾多英子 | 本学法学研究科修士課程修了  |
| 市川岳仁  | 本学法学研究科修士課程修了  |
| 劉飛飛   | 本学法学研究科修士課程修了  |
| 朝倉健太  | 本学法学研究科修士課程修了  |
| 五百木孝行 | 本学法学研究科修士課程修了  |
| 坂居雅史  | 本学法学研究科修士課程修了  |
| 酒部正太郎 | 本学法学研究科修士課程修了  |
| 渋谷満   | ホルン奏者<br>大阪市職員 (音楽士)<br>大阪市教育委員会事務局生涯学習部音楽団 (大阪市音楽団)<br>日本音楽家ユニオン関西地方本部事務局次長 |
| 橋詰清一郎 | 本学法学研究科修士課程修了  |

## 龍谷大学大学院『法学研究』内規

制 定 1999年10月6日

一部改正 2001年3月22日

### (目的と名称)

第1条 龍谷大学大学院法学研究科院生の学術研究の奨励及びその成果の発表のため、学術雑誌を年1回発行する。

2 この学術雑誌を「法学研究」と称する。

### (『法学研究』の構成)

第2条 『法学研究』には、修士論文、課題研究及びその他の研究成果（以下「論文」という。）並びに修士論文要旨及び課題研究要旨（以下「要旨」という。）を掲載する。

### (論文提出資格)

第3条 『法学研究』に掲載する論文を提出する資格を有する者は下記のとおりとする。

- ① 大学院法学研究科在籍者。
- ② 大学院法学研究科修了者。
- ③ その他編集委員会が認めた者。

### (編集委員会)

第4条 『法学研究』の編集に関する事項を管掌するため、『法学研究』編集委員会（以下「委員会」という）をおく。

- 2 委員会は、大学院法学研究科所属の専任教員3名により構成する。
- 3 委員の任期は1年とする。但し再任を妨げない。
- 4 委員会に委員長をおく。委員長選出は委員の互選による。
- 5 委員会の招集は、委員長がおこなう。

### (論文及び要旨の掲載手続)

第5条 論文は、委員会の定めた募集要項に基づき、本内規第3条に該当する者よりこれを公募する。

- 2 前項の論文のうち、原則として修士課程における指導教員の推薦に基づき、委員会が承認したものを掲載する。
- 3 要旨は、原則として前年度修士課程修了者全員の修士論文要旨及び課題研究要旨を掲載する。

### (事務)

第6条 『法学研究』に関する事務は、研究部がおこなう。

### 付 則

第1条 この規程は、1999年10月6日より施行する。

### 付 則 (2001年3月22日第6条改正)

第2条 この規程は2001年4月1日より施行する。

---

# CONTENTS

---

## Articles

- Dose the Private Finance Initiative Scheme fit to a Prison Service in Japan?  
— An evaluation of PFI prisons in Japa from various Perspectives — … Taeko Matsuo ( 1 )
- Functions and Expectations for the “Recovered” in the Process of Drug Addict’s Rehabilitation  
— A Case of Drug Addiction Rehabilitation Center (DARC) — …… Takehito Ichikawa ( 29 )
- A Comparative Study of Recent Legal Protection of the Well-known Trademarks  
— Focusing on Japanese, Chinese and Treaty Laws in Relation to Registration  
Without Permission of Trademark, and Draft to Build for International Standard Model —  
…………… Feifei Liu ( 51 )
- About the effect which performance budget has affected budget discuss in local council  
— from case of KAWANISHI city Hyogo prefecture — …………… Kenta Asakura ( 69 )
- The Significance of Independent Social Worker in Community Welfare  
— Towards New Cooperation and Coproduction in the Community — … Takayuki Ioki (103)
- The Gap Between Global Standard and Domestic Policy over Elimination  
of Discrimination against Women  
— How Does the Local Government Answer the Person Concerned Need? —  
…………… Masafumi Sakai (135)
- The view of local government Informetion Technology systems  
in terms of the local government staff  
— To create organic corporations between the Information Technology section  
and the Service section — …………… Shotaro Sakabe (165)
- Possibility of the “local cycling” music industry promotion policy  
— Proposal of local education in Osaka City by music-related functional holders connecting  
the citizens and musicians with “sense of contiguous” — …………… Mitsuru Shibui (193)
- The theory and practice of the “Map of Community Safety and Charm” for an inclusive  
“Machizukuri”  
— from the case of the Safe Community in Kameoka-city, Kyoto —  
…………… Seiichirou Hashizume (211)

龍谷大学大学院法学研究編集委員会

委員長 石田 徹

委員 河村 尚志

委員 京藤 司

龍谷大学大学院法学研究

第 12 号

2010年7月14日 印刷

2010年7月21日 発行

編 集  
発 行

龍谷大学大学院法学研究編集委員会  
〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67  
電話 075-645-7922

印 刷

株式会社 田中プリント  
〒600-8047 京都市下京区松原通麩屋町  
東入石不動之町677-2  
電話 075-343-0006

THE BULLETIN OF THE GRADUATE SCHOOL OF LAW  
RYUKOKU UNIVERSITY

Published by  
The Editorial Committee of  
the Bulletin of the Graduate School of Law  
Ryukoku University  
Kyoto, Japan